



鳥飼

まちづくり グランドデザイン通信

Vol.8
R6.7.8発行

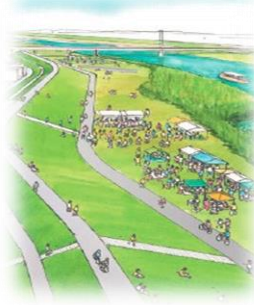
～淀川河川敷を活用した賑わい創出に向けて～
2025年大阪・関西万博開幕6ヵ月前イベント実施
に向けた説明会を開催しました。

開催日時：令和6年6月12日（水）
午後7時00分～午後8時30分
開催場所：新鳥飼公民館
参加者数：8名

2025年4月13日に開幕する2025年大阪・関西万博機運醸成に向けて、舟運を活用した万博開幕6ヵ月前イベントが10月13日に淀川沿川自治体各地で同時開催される予定です。

これまでのワークショップ結果や地域住民の意見からも、淀川河川敷を活用した地域イベントの開催を通じて賑わいを創出するべきといった期待の声は非常に多く、本市もイベント実施主体の募集を行い、協働によるイベント実施に向けた説明会を行いました。

市からの説明の後、イベントのコンセプトやターゲットをどうするかについて深く議論を行いました。今後、実行委員会形式でイベント実施に向けた取組を進めていくことになりました。



鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会開催報告

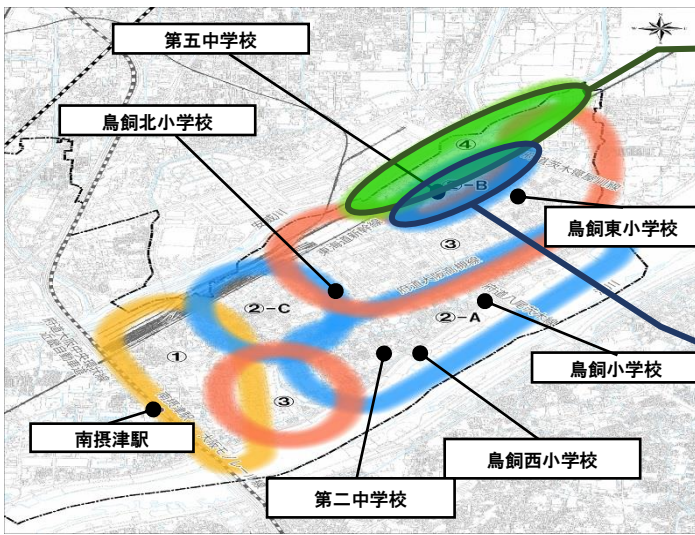
エリア： 田園（農業とのふれあい）エリア
居住性向上エリアB

開催日時：令和6年6月16日（日）
午前10時00分～午前11時40分

テーマ： 将来予想・取組の方向性の確認
今後の進め方（鳥飼東小学校跡地の利活用等）
鳥飼八町地区の農業の地域計画話合いの場を同時開催

開催場所：第12集会所（鳥飼八町1-8-8）
参加者数：35名

今回の説明会は、鳥飼八町を中心とした「**田園（農業とのふれあい）エリア**」と、鳥飼新町を中心とした「**居住性向上エリアB**」を対象として開催しました。



田園（農業とのふれあい）エリア

鳥飼八町地区を中心とした豊かな田園やそこで栽培される鳥飼なすなどを地域の資源と捉え、農業体験や新鮮野菜等の直売など「**農**」をキーワードにした**地域価値の向上を期待するエリア**です。鳥飼地域のまちづくりにおける、**東の核**になることを期待しているエリアでもあります。

居住性向上エリアB

北側に「田園（農業とのふれあい）エリア」が隣接していることから**自然・四季の移ろい**を体感しながら**居住空間の向上を期待するエリア**です。

今回の内容

今回の説明会では、将来予想の確定と前回実施した1回目の説明会でいただいた意見を紹介するとともに、それぞれの意見を実現させていくためには、既に設定している取組の方向性にどのように関連付けて取組を進めるべきかの確認を行いました。

また、鳥飼八町地区における農業の地域計画策定に向けた話合いの場も同時に開催し、今後のスケジュール等に関して地域の皆様と意見交換を行いました。



今回のエリアが将来どうなったら良いか、そのため、鳥飼東小学校跡地をどのように利活用するべきかについて、ご意見をお送りいただくようお願いしました。

説明会出席者からの意見（一部抜粋・要約）

鳥飼東小学校跡地にはショッピングセンターやスーパーを誘致してほしい。
民間企業も視野に入れた案を出すべき。

若い人達の就農につながるように、アグリカルチャーセンターのようところで、農業従事者から色々なことを学ぶ機会を作るべき。

小学校統廃合の後には中学校の問題が出てくる。
第五中学校も統合となると、次は中学校跡地の利活用も考えないといけない。

農機具のシェアや人材確保のために市が補助をする取組みに力を入れてほしい。

防災の視点を持ったうえで鳥飼八町地区を、作る・学ぶ・遊ぶ・守るの4つの区分に分けて考える必要がある。

今後は、それぞれのエリアで将来予想の実現に向けた取組に関する意見交換を行っていきます。また、鳥飼東小学校跡地の利活用に関しては、複数エリアにまたがるため、エリア全体にかかる取組の方向性も踏まえた議論を進めるため、地域の皆さんとワークショップを随時開催し、検討を行ってまいります。

今回のエリアの将来予想（イメージ）



居住性向上エリアB



田園（農業とのふれあい）エリア

説明会の資料や議事録等は摂津市HPに掲載していますので、是非ご覧ください。

